

障害者と家族の生活の質（QOL）の向上を目指して、環境や制度が人の意識や行動に及ぼす影響に関する研究を行っています。

白

自立支援のために

個人と社会を結ぶ支援方法の探究



地域の精神障害者が参加する防災活動のモデルづくり

北海道にある精神障害者の浦河べてるの家、浦河町、地域の自治会と共同して、障害のある人へのアクセシブルな避難・防災情報づくりに向けた研究を進めています。（写真は、研究で支援したメンバー（中央2人）が作成した、DAISY（Digital Accessible Information System）による避難訓練マニュアルの発表（第2回障害者の防災国際会議））



障害や慢性疾患のある子どもへの家族に対する支援方法の研究

家族同士の特殊な経験や感情の共有を図るグループワークの開発評価、障害や福祉制度の情報提供について研究しています。

